

●お知らせ

●第5回 ご近所の底力 防災・減災取り組み展

地域での防災・減災に繋がる行事や取り組みを一堂に展示します。各地域間や一般市民の皆さんに『災害への備え』に参考となる情報、知識、人の交流の場となることを願っています。

日時：11月19日(月)～12月1日(土)
9:00～17:15(11月23日を除く)

場所：ぶらざこむ1 1階ギャラリー

費用：無料

主催：宝塚広域ボランティア連絡委員会

●お知らせ

●第2回すみれサロン公開講座「がん患者・家族と医療者との相互理解」について

～ホスピス、緩和ケアに取り組んできた体験談を語る～
“がんを知り” “がんと向き合い” そしてがんに負けないように患者・家族が学び、医師と語り合います。

日時：11月24日(土) 13:30～16:00

場所：ぶらざこむ1 会議室 21AB

講師：星ヶ丘医療センター緩和ケア科 藤川 晃成医師

定員：30名(先着順) 費用：無料

対象：どなたでも

主催：宝塚がんサポートすみれの会

※直接会場にお越しください

●相談会のお知らせ

●悩みごと相談

カウンセリング活動グループ「エルライン」による親子・友人・夫婦・介護などの心の個人相談。

日時：11月17日(土) 13:30～16:30
12月15日(土) 13:30～16:30

場所：ぶらざこむ1

対象：どなたでも

費用：無料

定員：6名(要予約)

申込み：宝塚社協ボランティア活動センター

主催：エルライン

●お知らせ

●171号(7月1日発行)に掲載いたしました「いこいこカフェ」さんは、グループのご都合により現在、活動を休止されています。

平成30年8月1日～9月30日まで
相談 依頼件数
……53件(うち終了分43件)

(発行) 社会福祉法人 宝塚市社会福祉協議会・ボランティア活動センター
〒665-0867 宝塚市売布東の町12-7(ぶらざこむ1内)
(発送) 発送ボランティア
(編集) みんなボランティア編集部

観る・感じる・想う

おはよう！ まず身体を動かして、身支度をする。
次に行動に移る。

さて、今日のやることは……。否、ちょっと待てよ！ それは昨夜決めていたじゃないか。一週間のスケジュールは、一か月の概略とすでに手帳とカレンダーに記載している。長年の黒い手帳は私の日報である。サラリーマン時代を卒業してから、とくにスケジュール管理などしていなかったが、16年前に「脳動脈瘤」の手術をして、記憶障害を誘発し約10か月間の入院加療とリハビリを経験した。その中で自分の行動の日報をつけて一日の「振り返り」をするという訓練を学んだ。その訓練が今の自分を助けてくれている。ボランティアセンターの紹介を頂き、新聞の発行や四季折々に開催される行事に参加してお手伝いをしたりして楽しんでいる。また、好きな「字を書くこと」を深めるために「書道」も取り組んで十年以上になり、展覧会に出展したり、教室の仲間たちと食事会や美術や近郊の名所巡りをして、体力が落ちないように、気力が衰えないように、ぼんやりしているのは勿体ない！

私が元気なことは家族に安心を与え、とくに「奥様」は安心して自分の好きなことに気をまわすことが出来ますからね。(これは内緒ですよ！)

NOHOHONJIN

ボラセン日記

夏休みも終わりに近づく頃、「視力障害の方のお話を聴きたいのですが……。」とのご相談。さらに話をお聞きすると、「小学生の子どもが夏休みの宿題で点字について調べている。ただ調べるだけでなく、視力障害者の生活についてのお話も聞いてみようと思った。」とのこと。

今、小中学校を中心に『福祉教育』の授業が実施されている。『体験を体験だけで終わらせない福祉教育』『当事者の声を聴くことを大切にする福祉教育』を呼びかけてきた。そんな中でのご相談に、とても嬉しい気持ちになった。

直ぐ様、お話をお聞きできる方にご連絡し、お子さんとお母さんで訪問していただくことに。たくさんの方とお話をし、一緒にお昼ご飯も食べて、楽しい時間を過ごされました。今後もこんな交流が広がるといいな～。(まー)



※問合せ先の記載がないものは、ボランティア活動センターにお問い合わせください。

記事に関するお問い合わせは
宝塚社協ボランティア活動センター

Tel 0797-86-5001 (直通)

Fax 0797-83-2425

HP <http://avolun.o.oo7.jp>

E-mail avolun@nifty.com

へどうぞ



フェイスブック
も見てね♪

